



2026年版 ディスクロージャー誌

Johnan Shinkin Bank
DISCLOSURE

城南信用金庫の経営内容について

経営理念 3つのビジョン

ビジョン

01

中小企業の健全な育成発展

お客様のお役に立つべく、「貸すも親切」「貸さぬも親切」の精神をもって地域の中小企業の育成発展に貢献します。

ビジョン

02

豊かな国民生活の実現

信用金庫は、地域を守り、地域の方々の幸せのためにつくられた公共的使命を持つ金融機関です。自らの利益のために活動するのではなく、豊かな国民生活の実現のため努力を惜みず取り組みます。

ビジョン

03

地域社会繁栄への奉仕

地域に根ざした金融機関として、お客様のお役に立つ商品、サービスの提供、相談業務の充実を図ることにより、地域の皆様の事業の発展や豊かで潤いある暮らしづくり、さらには活気に溢れた明るい街づくりを目指し、全力を尽くします。

経営方針

「健全経営」「堅実経営」の徹底 – 「間接金融専門金融機関」を貫く –

城南信用金庫では、お客様に損失を与える可能性のある商品は取扱っており、安全確実な預金商品の提供に努めるとともに、お客様のお役に立つ健全な融資の取扱いを通じて地域のお客様を全力で支援する等、金融機関の原点である「間接金融専門金融機関」を貫いています。

また、創立以来「貸すも親切、貸さぬも親切」という融資の基本原則を貫いており、投機を目的とした融資は一切行っていません。余剰資金の運用についても、証券化商品への投資は一切行っており、国債や預け金等の安全確実な運用に努めています。今後についても、金融機関としての本業に徹するとともに、「健全経営」「堅実経営」を徹底してまいります。

「人を大切にする経営」「思いやりを大切にする経営」の徹底

信用金庫は、助け合いや思いやりを大切にして、誰もが幸せに暮らせる社会を実現するために生まれた協同組織の金融機関です。城南信用金庫は、「人を大切にする」「思いやりを大切にする」という協同組織の精神による金融業務に力を注ぎ、地域のお客様のお役に立ち、日本を明るく元気にするために全力で取り組んでまいります。

「お客様本位」に基づいた取組みの徹底

信用金庫は、地域の皆様が会員（出資者）であると同時に取引先であるため、本当の意味での「お客様本位」に徹した経営が可能です。このため城南信用金庫では、お客様に目を向けた独自の商品・サービスのご提供に努めるとともに、お客様のお困りごとを解決するために全力を注ぐ等、誠実で真心を込めた取組みに徹し、地域のお客様との「信頼の絆」をより強固なものとしてまいります。

Outline 当金庫の概要

〔設立〕	1945年8月
〔会員〕	245,737名
〔出資総額〕	438億円
〔従業員〕	1,857名
〔本店〕	東京都品川区西五反田7-2-3
〔店舗〕	86店（うち有人出張所2・インターネット支店1）
〔営業地域〕	東京都および神奈川県川崎市、横浜市、相模原市、大和市、厚木市、海老名市、座間市、藤沢市、伊勢原市、綾瀬市、平塚市、秦野市、茅ヶ崎市、鎌倉市、高座郡、愛甲郡

2026年3月31日現在



城南信用金庫のイメージキャラクター
「シナモロール」

Cinnamoroll

© 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L664638

—— 地域を共感でつなぎ、笑顔を広げる ——



城南信用金庫は、地域の皆が集い、
集った皆さんが笑顔となる
地域・コミュニティの「プラットフォーム」をめざします。

信用金庫は、相互扶助の理念に基づいた、協同組織の金融機関です。
地域社会の発展・繁栄のためにつくられた「公共的使命を持つ金融機関」として、
店頭では、明るい笑顔でお客様をお迎えし、誠実かつ丁寧にご案内する。
渉外活動では、お客様のもとへ元気にお伺いし、真摯に耳を傾ける。
これからも変わることなく、「お客様本位」に基づき、信用・信頼を大切に活動に、全力で取り組んでまいります。

Contents
目次

城南信用金庫のDNA	02	事業者の皆様への本業支援	20
ご挨拶／創立80周年記念事業	04	よい仕事おこしネットワークの取組み	23
城南信用金庫の歩み	06	やりがいを持ち、安心して働ける職場づくり	24
城南信用金庫の「中長期的にめざすべき姿」	08	DX・BPRの推進	25
2025年度の業績と経営内容	10	リスク管理態勢・コーポレートガバナンス態勢	26
個人の皆様への夢のある商品・サービス	16	城南信用金庫の社会貢献活動	28
営業店舗の新築・建替え	19	店舗のご紹介	30

城南信用金庫のDNA



ルーツは世界最初の協同組合

ロッチデール公正先駆者組合

我が国では、ドイツの商工業者の信用組合をお手本にして、1900年(明治33年)9月に産業組合法が制定されましたが、この時に誕生した産業組合が現在の農協や生協、信用金庫のルーツと言えます。

このドイツの信用組合は、1844年にイギリス・マンチェスター郊外のロッチデールに創立された、世界最初の協同組合「公正先駆者組合」がモデルであり、当時イギリスでは、産業革命が急速に進展した結果、貧富の差が拡大するばかりで、社会の混乱を招いていました。そこで勤労者や庶民がお互いに助け合って、皆が豊かで安定した生活を営める理想社会をつくらうという社会運動が起こり、これが協同組合運動となりました。



ロッチデール組合の建物

都内最古の「入新井信用組合」



加納久宜子爵
(鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵)

加納久宜子爵

1900年(明治33年)に制定された産業組合法に基づき、1902年(明治35年)7月に、上総一宮藩最後の藩主であった加納久宜子爵が、大田区山王の自宅で都内最古の信用組合である入新井信用組合を設立しました。1905年(明治38年)には、会頭を平田東助、副会頭を加納子爵とする大日本産業組合中央会が創設され、加納子爵は全国農事会と入新井信用組合の連名で、全国の産業組合に呼びかけ、自らが議長となって第一回全国産業組合大会を開催しました。その他にも、鹿児島県知事や千葉県の一宮町長を務められたほか、農事会幹事長、帝国農会の初代会長、日本体育会会長として金融、農業、教育、地方自治の分野において、近代日本の発展に大きな貢献をされました。

実はこの加納家は、江戸時代、徳川家に側近として仕え、将軍家と縁戚関係にある名家でした。特に江戸時代中期、徳川8代将軍徳川吉宗に御用取次役として仕えた加納久通は、目安箱の設置や無料の医療施設であった小石川養生所の設置等、民衆のための政策であった享保の改革を補佐しました。

加納家の志を受け継いだ加納子爵が信用組合の普及や啓蒙に尽力された結果、近隣の有力者たちは、入新井信用組合に学び、城南の前身となる信用組合を相次いで設立しました。国のため、地域のため、民衆のために一生を尽くした加納子爵は、「一にも公益事業、二にも公益事業、ただ公益事業に尽くせ」という信用金庫の持つ公共的な使命を示す言葉を遺しました。「困った人々を助ける」という想いは現代まで脈々と受け継がれています。

城南信用金庫の誕生

城南信用組合の発足

終戦直前の1945年(昭和20年)8月10日、空襲により焦土と化した城南地区の一角において、入新井信用組合をはじめとした15の信用組合が合併し、城南信用組合が発足しました。

初代組合長は、当時、六郷信用組合の組合長を務めた代田朝義。1894年(明治27年)12月に山梨県北巨摩郡菅原村で生まれ、六郷町長、東京都議会議員等を経て大田区長を10年間務めた人物です。1945年(昭和20年)10月には、民間から初めて東京都市街地信用組合協会(現在の東京都信用金庫協会)の会長に選出され、同年12月には全国信用組合協会(現在の全国信用金庫協会)の会長に就任する等、地元の名士として政界で活躍する一方で、信用金庫業界の指導者としても活躍し、地域社会の発展と我が国経済の発展、繁栄に貢献しました。

第2代組合長は入新井信用組合の組合長を務めた酒井熊次郎。1889年(明治22年)12月に荏原郡入新井町で生まれ、東京都議会議員、入新井町長を歴任しました。1950年(昭和25年)には、全国信用協同組合連合会(後の全国信用金庫連合会、現在の信金中央金庫)の設立発起人として大蔵省との



旧本店

交渉にあたるとともに、全国の信用組合に協力を呼びかける等、同連合会の設立に尽力しました。同連合会は当時の城南信用組合本店の会議室を借りて発足しました。酒井は初代会長に就任し、1956年(昭和31年)まで6年間にわたり信用金庫業界のリーダーを務めました。

その後、城南信用組合は、1951年(昭和26年)6月の信用金庫法の施行に伴い、同年10月に全国のトップを切って信用金庫に改組し、名称を城南信用金庫と改めました。

信用金庫業界の発展に貢献

第3代理事長 小原鐵五郎

小原鐵五郎は、1899年(明治32年)10月に荏原郡大崎村の農家の四男として生まれました。1919年(大正8年)に大崎信用組合の設立に参加し、1930年(昭和5年)には産業組合中央会主催の弁論大会で「信用組合の貸出金について」というテーマで1等賞を受賞しました。1945年(昭和20年)4月に大崎信用組合の専務理事に選任され、また同年8月には城南信用組合発足と同時に専務理事に就任しました。

小原は、1956年(昭和31年)に第3代理事長に就任し、さらには1963年(昭和38年)に全国信用金庫連合会の会長に、1966年(昭和41年)には全国信用金庫協会の会長に就任する等、名実ともに業界を指導するリーダーとなりました。当時、大蔵省は信用金庫を株式会社化して、銀行が信用金庫を吸収合併できる法案の成立を考えていましたが、小原は「信用金庫は日本経済を支える中小企業のための金融機関である」という「裾野金融論」を主張して、信用金庫業界の危機を救いました。そして1968年(昭和43年)の「信用金庫躍進全国大会」において、信用金庫の経営理念となる3つのビジョンを初めて打ち出しました。



小原鐵五郎

1975年(昭和50年)に理事長を退任して会長に就任した後も、1989年(平成元年)1月27日に89歳で亡くなられるまで、城南信用金庫のみならず信用金庫業界全体の発展のために精力的に活動を続けました。こうした長年の功績が認められて、1977年(昭和52年)には勲二等瑞宝章を、1987年(昭和62年)には勲一等瑞宝章を受章しました。小原が遺した「裾野金融」「貸すも親切、貸さぬも親切」「カードは麻薬」「国民経済」「産業金融」「銀行に成り下がるな」等の言葉は、「小原鐵学」と呼ばれ、現在も信用金庫の理念を示す言葉として大切に受け継がれています。



「地域と“共に”生きる」信用金庫をめざして

皆様には、平素より、城南信用金庫に対しまして、格別のご愛顧、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。ございます。

さて、昨年度を顧みますと、国内経済は、緩やかな持ち直しの動きが見られる一方、原材料・エネルギー価格の変動、物価上昇に伴うコスト増、そして何より慢性的な人手不足など、中小企業の皆様にとっては、依然として不確実性が高い状況が続いています。また、海外では地政学リスクの高まりに加え、各国の政策動向や国際物流の変化などにより、サプライチェーンの見直しが一段と求められる局面も想定されます。さらには、金融界におきましても、2025年12月、日本銀行が政策金利を0.75%に引き上げ、約30年ぶりの金利水準となり、預金・貸出・運用のすべてにおいて、これまで以上にきめ細かな対応が求められ、金融機関を取り巻く環境も変化の最中にございます。

こうした中、当金庫は、「地域と“共に”生きる」信用金庫をめざして、資金繰りをお支えする「金融支援」と、経営課題の解決に伴走する「本業支援」を両輪として、役職員一丸となって取組んでまいりました。

このような活動の結果、2025年度におきましても、健全経営、堅実経営を維持することができました。これもひとえに地域の皆様のご支援・ご協力の賜物と心より深く感謝申し上げます。

迎えた2026年度につきましても、当金庫は「皆が集い、集った皆さんが笑顔となり、そして、“当金庫と取引することで幸せになれる”」地域・コミュニティーの「プラットフォーム」をめざして、役職員一丸となり、全力で取組んでまいりますので、今後とも何卒一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 林 稔



創立80周年記念事業



「お客様向け創立80周年記念式典ならびに観劇会」を開催

2025年9月19日(金)、歌舞伎座にて、財務省関東財務局後藤局長、経済産業省関東経済産業局佐合局長をはじめとするご来賓の皆様、総代ならびにお取引先約1,500名の皆様をお招きし、「お客様向け創立80周年記念式典ならびに観劇会」を開催しました。



創立80周年記念定期預金 「サクスThanks!80」を取扱い

創立80周年を記念した定期預金「サクスThanks!80」を期間限定で取扱いしました。



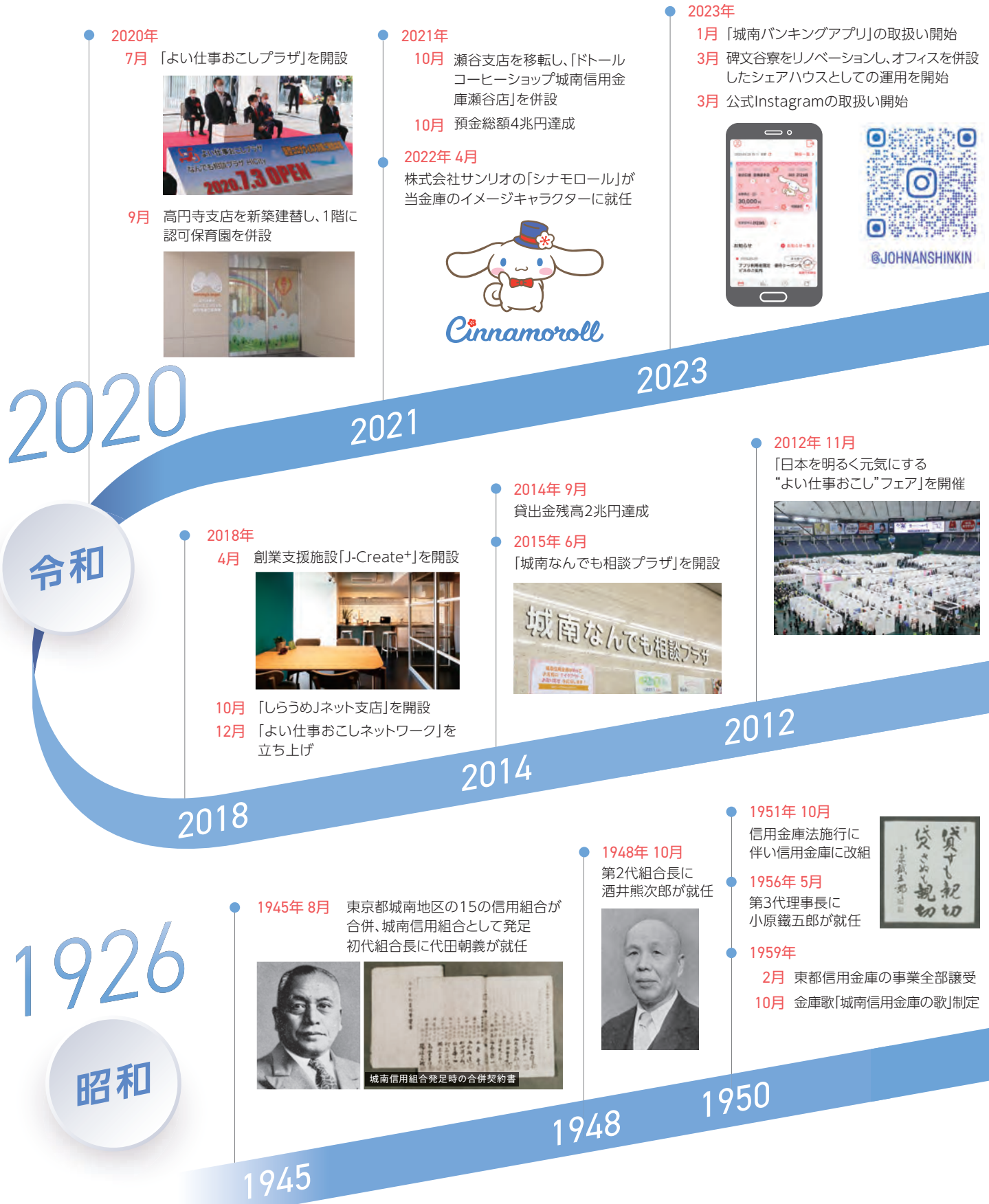
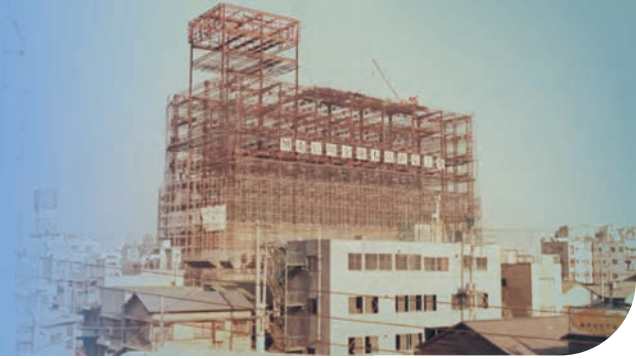
(本商品は募集を終了しました)

「創立80周年記念式典及び祝賀会」を開催

2025年8月8日(金)、グランドプリンスホテル新高輪にて「創立80周年記念式典及び祝賀会」を開催しました。



城南信用金庫の歩み



2020

令和

1926

昭和

2020年

7月 「よい仕事おこしプラザ」を開設



9月 高円寺支店を新築建替し、1階に認可保育園を併設



2021年

10月 瀬谷支店を移転し、「ドールコーヒーショップ城南信用金庫瀬谷店」を併設

10月 預金総額4兆円達成

2022年 4月

株式会社サンリオの「シナモロール」が当金庫のイメージキャラクターに就任



2023年

1月 「城南バンキングアプリ」の取扱い開始

3月 碑文谷寮をリノベーションし、オフィスを併設したシェアハウスとしての運用を開始

3月 公式Instagramの取扱い開始



2021

2023

2018年

4月 創業支援施設「J-Create+」を開設



10月 「しらうめ」ネット支店」を開設

12月 「よい仕事おこしネットワーク」を立ち上げ

2014年 9月

貸出金残高2兆円達成

2015年 6月

「城南なんでも相談プラザ」を開設



2012年 11月

「日本を明るく元気にする

“よい仕事おこし”フェア」を開催



2012

2014

2018

1951年 10月

信用金庫法施行に伴い信用金庫に改組

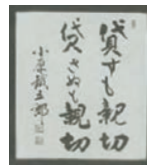
1956年 5月

第3代理事長に小原鐵五郎が就任

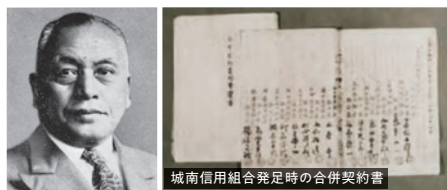
1959年

2月 東都信用金庫の事業全部譲受

10月 金庫歌「城南信用金庫の歌」制定



1945年 8月 東京都城南地区の15の信用組合が合併、城南信用組合として発足 初代組合長に代田朝義が就任



1948年 10月

第2代組合長に酒井熊次郎が就任



1948

1950

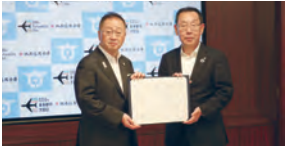
1945



- 2024年
- 2月 令和6年能登半島地震復興支援企画「チャリティーコンサート」を開催
- 6月 品川区と包括連携協定を締結



- 10月 大田区と包括連携協定を締結



- 2025年
- 4月 建設案件紹介サービス「ツナガル」の取扱い開始
- 4月 城南ものづくりコンソーシアムサービスの取扱い開始
- 8月 **創立80周年**
- 9月 信用金庫生成AI共同研究会「“GEN(ジエン)×しんきんラボ” supported by neoAI」発足

- 2026年
- 1月 一般社団法人しんきん共同センター加盟
- 2月 新横浜支店が新店舗で営業開始

2024

2025

2026

- 2011年
- 3月・4月 「東日本大震災」への義援金として3月に1億円、4月に2億円、合計3億円を寄付
- 4月 被災地支援のボランティア活動を開始



- 1994年 11月 懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」の取扱い開始



- 1995年 9月 預金総額3兆円達成

- 1991年 4月 金融界で初めて、独自の短期・長期プライムレートを導入

- 1992年 4月 金融界で初めて、「不良債権」の残高を明示

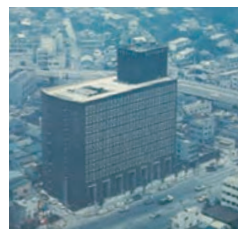
1989



2011

- 1961年 7月 芝商工信用金庫の事業全部譲受
- 1966年 7月 事務センター(世田谷区桜新町) 新築

- 1970年 10月 新本店新築落成



- 1977年 6月 新事務センター完成



- 1982年 12月 預金総額1兆円達成

- 1986年 2月 公益財団法人 小原白梅育英基金設立

- 1987年 10月 貸出金残高1兆円達成

- 1989年 11月 預金総額2兆円達成

1980

1960

1970



城南信用金庫の 「中長期的にめざすべき姿」



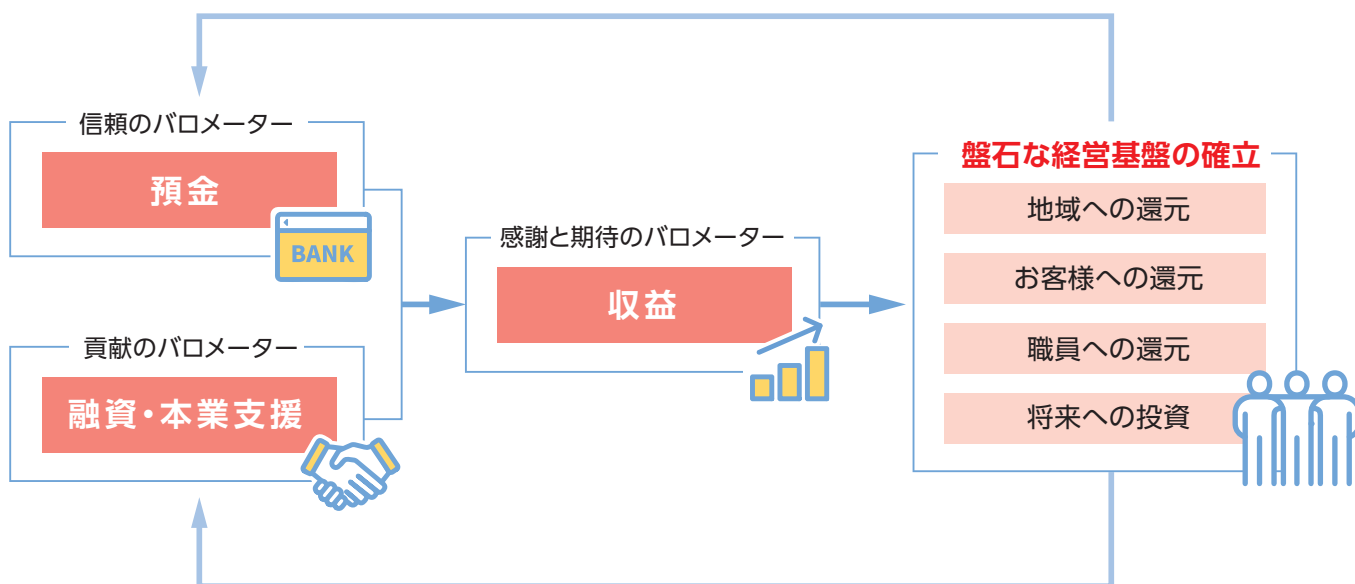
「中長期的にめざすべき姿」

金庫を取り巻く経営環境は、外部環境・内部環境ともに、大きく変化しています。こうした中で、「中長期的にめざすべき姿」を示す目的は、金庫の5年後、10年後の姿を明確にして、それを実現するための課題を共有することです。そして、課題解決に向けた施策・役割・進捗状況を可視化することで、限られ

たリソースを最適化し、役職員が一枚岩となり、同じ方向に向かって取組むことを狙いとしています。

2035年に迎える金庫創立90周年、2045年に迎える100周年に向け、「盤石な経営基盤の確立」を中長期的にめざします。

「地域」・「お客様」・「職員」への還元、
そして「将来」への投資ができる「盤石な経営基盤の確立」をめざします。



「中長期的にめざすべき姿」を実現するための10本柱

金庫を取り巻く経営環境を踏まえて、盤石な経営基盤を確立するため、以下の10本柱を中心とした取組みを進めていきます。

01

収益基盤の拡充

02

預金と融資の増強

03

本業支援・事業承継支援・
経営改善支援等の
更なる高度化

04

人的資本経営の高度化

05

人材の即戦力化をめざした
抜本的な研修制度の改革

06

DX・BPRの推進

07

店舗チャネルの再構築・
資産の有効活用

08

内部監査態勢の高度化

09

コンプライアンスリスク管理の徹底・
マネロン等対策の実効性確保

10

盤石な経営管理態勢の構築・
ガバナンスの強化・本部組織再編

2025年度の業績と経営内容



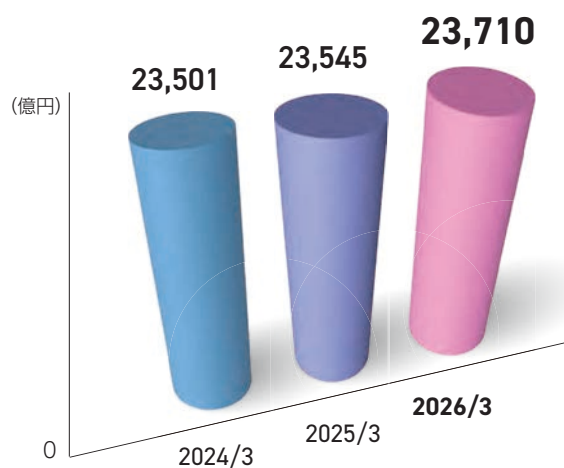
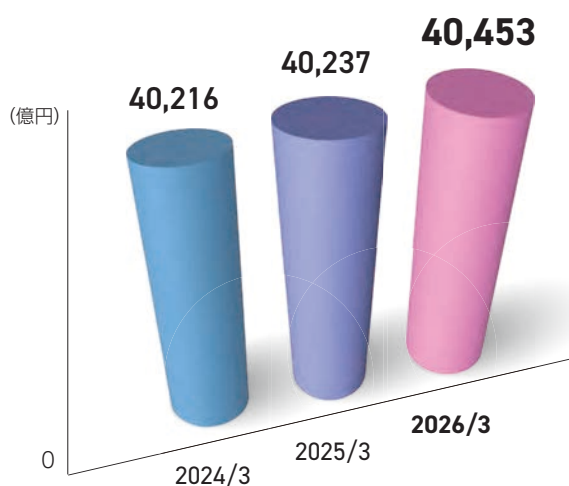
預金と貸出金の状況

預金残高

4兆453億円

貸出金残高

2兆3,710億円



預金については、年間で216億円増加し、残高は4兆453億円となりました。

多くの金融機関では、投資信託や変額年金保険等を販売していますが、これらの商品には、運用対象となっている株式や債券等の価格が下落したり、為替相場が変動すると元本割れする等のリスクがあるため、当金庫では、こうしたお客様に損をさせる可能性のある商品は取扱っておりません。

貸出金については、お客様の資金繰り改善に取り組んだ結果、年間で165億円増加し、残高は2兆3,710億円となりました。

当金庫では、今後も、地域の中小企業や個人のお客様のお役に立つ健全な融資の推進に取り組んでまいります。

- ・詳細な計数資料については、「計数資料編」に掲載します。
- ・本誌に掲載した各計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。
- ・本誌に表示している表、グラフ等で、年月の記載のないものは、2026年3月31日現在のものです。



詳細は城南信用金庫ホームページにてご確認ください。

収益の状況

業務純益

69億円

経常利益

70億円

当期純利益
(税引後)

52億円

■業務純益、経常利益、当期純利益

(金額単位:百万円)

科目	金額
業務収益	55,283
貸出金の受入利息	40,304
預け金等の受入利息	10,238
受入手数料等	4,097
その他	644
業務費用	48,299
預金・積金の支払利息等	8,195
支払手数料等	1,843
人件費	17,378
物件費	13,357
その他	7,525

科目	金額
業務純益	6,984
臨時収益	1,459
臨時費用	1,373
貸出金償却・引当	56
その他	1,316
経常利益	7,070
当期純利益(税引後)	5,246

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

自己資本比率の状況

■自己資本比率

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額} \quad 1,874\text{億円}}{\text{リスク・アセット等の額の合計額} \quad 1兆7,553\text{億円}} \times 100 = \mathbf{10.67\%}$$

自己資本比率については10.67%となり、国内基準である4%の2倍以上であり、当金庫の経営の健全性がわかりいただけると思います。

不良債権と償却・引当額について

信用金庫の不良債権には、「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」と「自己査定に基づく分類貸出金」の2つの基準があります。

このうち、「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」は、法律で開示が義務づけられていますが、当金庫では、これに加えて、不良債権の実態を正確に示した「自己査定に基づく分類貸出金」を自主的に開示しています。



自己査定結果

自己査定にあたっては、まず、全貸出先について、債務者の財務や経営実態に応じて、正常先から破綻先までの5段階に区分を行います。これを「債務者区分」と言いますが、2026年3月期における債務者区分別の貸出先数・貸出金残高等の状況をまとめたものが表①です。

このうち、要注意先に対する貸出金については、貸出条件緩和債権（債務者の収支状況等の悪化により貸出条件の改定等を行った債権）の有無や、返済履行の遅延状況、貸倒れの発生する可能性等に基づいて、A、B、Cの3つのランクに細分化して開示しています。

表①. 債務者区分別貸出先数・貸出金残高等

(金額単位:億円)

		先 数	金 額 (構成比)
正 常 先	業況が良好で、財務内容にも問題のない先	41,625	15,613 (65.8%)
要 注 意 先	今後の管理に注意を要する先	8,457	7,248 (30.6%)
	内訳A 貸出条件緩和債権がなく、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	8,436	7,186 (30.3%)
	B 貸出条件緩和債権があり、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	18	38 (0.2%)
	C 期限経過・延滞が1ヵ月以上3ヵ月未満の先、ならびに要管理先のうち、無保全額が多額で、将来においてリスクの発生する可能性が高く、個別に引当を行うことが望ましい先	3	23 (0.1%)
破綻懸念先	事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	1,764	716 (3.0%)
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	221	59 (0.2%)
破 綻 先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	65	14 (0.1%)
国・地方公共団体(回収について危険性がなく、債務者区分を行っていません)		2	64 (0.3%)
合 計		52,134	23,716 (100.0%)

次に、債務者区分毎に担保・保証等による債権回収の可能性を精査して、貸出金を「I(非)分類」から「IV分類」の4つのランク

に分類しますが、その結果が表②です。

表②. 分類貸出金

(金額単位:億円)

		金 額 (構成比)
I (非) 分類	回収について問題のない貸出金	18,371 (77.5%)
II 分類	回収について注意を要する貸出金	5,336 (22.5%)
III 分類	回収について重大な懸念がある貸出金	7 (0.0%)
IV 分類	回収不能と判定される貸出金	0.5 (0.0%)
合 計		23,716 (100.0%)

※2024年度以前に引当てした貸出金はI(非)分類となっています。

※III分類、IV分類の貸出金は2025年度に発生したものを計上しています。

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

貸出金の償却・引当

貸出金に対する償却・引当については、表③に示した内訳になりますが、破綻先、実質破綻先に対する貸出金のうち、「Ⅲ分類」「Ⅳ分類」の貸出金については、担保でカバーされていない無保全部分であり、実際には、回収は難しいため、全額を償却・引当処理しました。

また、破綻懸念先に対する貸出金のうち、「Ⅲ分類」の貸出金については、まだ事業を継続している先等に対する貸出金であり、実際には、今後回収可能なものも含まれていますが、当金庫では、その先についても、債務者の支払能力を総合的に判断し、必要と認める額を計上しています。その結果、2025年度は100%の引当処理を実施しました。



表③. 破綻先、実質破綻先、破綻懸念先に対する貸出金の償却・引当額

破綻先	(うちⅣ分類) (うちⅢ分類)	0.4億円 — 億円	□	…	0.4億円の全額	0.4億円
実質破綻先	(うちⅣ分類) (うちⅢ分類)	0.1億円 — 億円	□	…	0.1億円の全額	0.1億円
破綻懸念先	(うちⅢ分類)	7億円		…	7億円の100%	7億円
合 計						7億円

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分

「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」の2026年3月期の内容は表④の通りです。

このうち「要管理債権」とは、債務者区分が要注意先に対する債権のうち、「3ヵ月以上延滞債権(元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3ヵ月以上延滞している貸出債権)」と「貸出条件緩和債権(経済的困難に陥った債務者の再建又は支援を図ることを目的とし、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権)」のことです。

また、「危険債権」とは、債務者区分が破綻懸念先に対する債権、そして「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、債務者区分が実質破綻先と破綻先に対する債権のことです。

3ヵ月以上返済が遅れている先に対する貸出債権について

は、多くの金融機関が債務者区分に際して、その一部を要注意先に区分しているのに対し、当金庫ではワンランク厳しい破綻懸念先に区分しているため、全て「危険債権」に含まれています。

当金庫では、「貸出金の償却・引当」で示しました通り、破綻先、実質破綻先、破綻懸念先に対する貸出金については、無保全額の100%を償却・引当処理していますので、当金庫の貸出債権は高い健全性を示していると言えます。

なお、新聞等で一般に不良債権比率と呼ばれているものは、この「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」のうち、「正常債権」を除く、「要管理債権」「危険債権」「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の割合のことですが、2026年3月末の不良債権比率は3.47%となっています。

表④. 信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分

(金額単位:億円)

	金額 (構成比)	償却・引当後の無保全額
正常債権	22,905 (96.5%)	
要管理債権	35 (0.1%)	
3ヵ月以上延滞債権	— (—)	
貸出条件緩和債権	35 (0.1%)	
危険債権	717 (3.0%)	—
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	71 (0.3%)	—
合 計	23,727 (100.0%)	—

※「金額(構成比)」は、単位未満を四捨五入しています。

※預金担保貸出金は、要管理債権には該当しないため、要管理債権から除外しています。

※単位未満のみ小数第1位まで表示しています。

融資業務に対する基本姿勢について

当金庫では、創立以来、「貸すも親切、貸さぬも親切」という融資の基本原則を貫き、真にお客様の発展、繁栄のお役に立つ健全な融資を取扱っています。

融資は、ご用立てしたお金がお客様の健全な発展、繁栄につながり、利息とともに返済されることが基本であり、返済能力、返済計画に無理のある融資や、資金使途に問題のある融資、お客様のためにならない融資申込については、いくら担保や保証があっても、お断りしたり、計画の見直しをお勧めすることが「本当の親切」だと考えています。

こうした融資に対する基本姿勢は一貫しており、株や土地等への投機を目的とした融資は行ってこなかったため、不良債権も少なく、健全な経営内容を堅持しています。

また、当金庫では、単に融資をセールスするのではなく、

事業先等のお客様の悩みをお聞きして、ともに解決していくため、「商談会」「各種セミナー」「海外事業展開支援」「事業承継・M&A」「産学連携」「相続、税務相談等に関する専門家派遣サービス」等、地域の企業や事業先を応援するサービスを幅広く提供することで、地域の事業先の発展、繁栄に貢献することを大前提としています。

さらに、資金繰りの面でも、預貸率が58.61%と、潤沢な資金を有しているため、貸し渋りや、金融機関にとって都合の良い時だけ融資するといった「晴れの日に傘を貸す」というやり方ではなく、「雨の日にごそ傘を差し出す」という姿勢のもとに、地域の健全な中小企業や堅実な個人のお客様に対する、良質な資金の安定的な供給に取り組んできた結果、地域への資金供給の状況は、表⑤のようになりました。

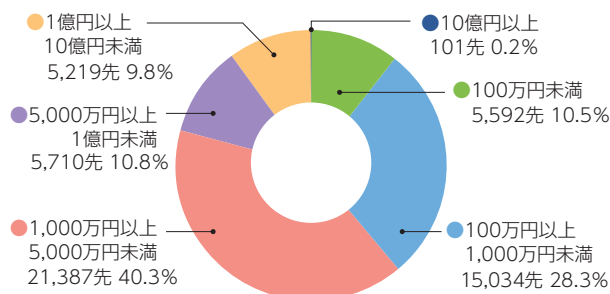
表⑤. 地域への資金供給の状況

事業者向け	1兆9,423億円	設備資金	1兆5,861億円	住宅ローン	3,709億円	預貸率 58.61%
個人向け	4,222億円	運転資金	7,849億円	消費者ローン※	59億円	
地方公共団体向け	64億円					

※リフォーム、教育、マイカー購入等を目的とした個人向けの貸出です。

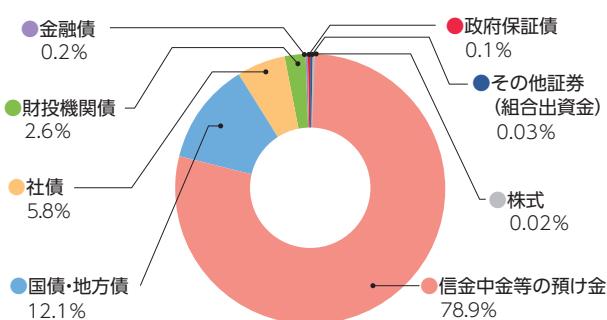
貸出金額階層別貸出先数について

当金庫では、1先あたりの貸出金額が1億円未満の先が90.0%を占めており、貸出が一部の大口先に偏ることなく、小口多数の貸出により構成されています。



余裕資金の運用について

貸出金以外の運用については、信金中央金庫等の預け金が全体の78.9%を占めており、その他は、国債・地方債等のリスクの少ない安全な運用に徹しています。



当金庫は、CO₂の削減等、地球温暖化をはじめとした環境問題の解決や改善効果につながる事業、社会的課題の解決やSDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、公共的使命を持った社会貢献企業の役割を果たすべく、国内優良企業や独立行政法人等が発行するグリーンボンド、

ソーシャルボンド、サステナビリティ・リンク・ボンド等の債券に投資しています。

※これらの債券は社債、財投機関債に含まれています。

貸借対照表

(金額単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金	23,753	預金積金	4,045,379
預け金	1,378,897	コールマネー	238
有価証券	368,549	外国為替	33
貸出金	2,371,077	引当金	10,483
外国為替	424	再評価に係る繰延税金負債	8,129
有形固定資産	66,507	その他	15,308
無形固定資産	4,116	負債の部合計	4,079,573
繰延税金資産	18,721	(純資産の部)	
その他	23,533	出資金	43,859
貸倒引当金	△ 3,943	利益剰余金	146,046
資産の部合計	4,251,637	利益準備金	30,000
		その他利益剰余金	116,046
		特別積立金	98,650
		(社会福祉事業積立金)	1,450
		(配当準備金)	5,200
		当期末処分剰余金	17,396
		処分未済持分	△ 0
		会員勘定合計	189,905
		その他有価証券評価差額金	△ 36,625 ※
		繰延ヘッジ損益	3,127
		土地再評価差額金	15,656
		評価・換算差額等合計	△ 17,841
		純資産の部合計	172,064
		負債及び純資産の部合計	4,251,637

(2026年3月31日現在)

損益計算書

(金額単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	56,743,726
資金運用収益	50,542,197
役員取引等収益	4,097,712
その他業務収益	644,041
その他経常収益	1,459,775
経常費用	49,672,998
資金調達費用	8,195,331
役員取引等費用	1,843,612
その他業務費用	5,058,079
経 費	33,346,743
その他経常費用	1,229,232
経常利益	7,070,727
特別利益	387,598
特別損失	104,790
税引前当期純利益	7,353,536
法人税等合計	2,106,549
法人税、住民税及び事業税	1,906,636
法人税等調整額	199,913
当期純利益	5,246,986
繰越金(当期首残高)	11,959,701
土地再評価差額金取崩額	189,517
当期末処分剰余金	17,396,205

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

※その他有価証券評価差額金の状況

(金額単位:百万円)

種 類	評価差額金
国 債	△ 24,741
地 方 債	△ 8,653
社 債	△ 3,353
株 式	119
投 資 信 託	-
外 国 証 券	-
その他の証券	4
合 計	△ 36,625

個人の皆様への 夢のある商品・サービス

「健全経営」「堅実経営」という経営方針のもと、安全確実な預金商品・サービスの提供や、お客様のお役に立つ健全な融資の取扱いにより、地域の皆様の豊かな暮らしを応援します。

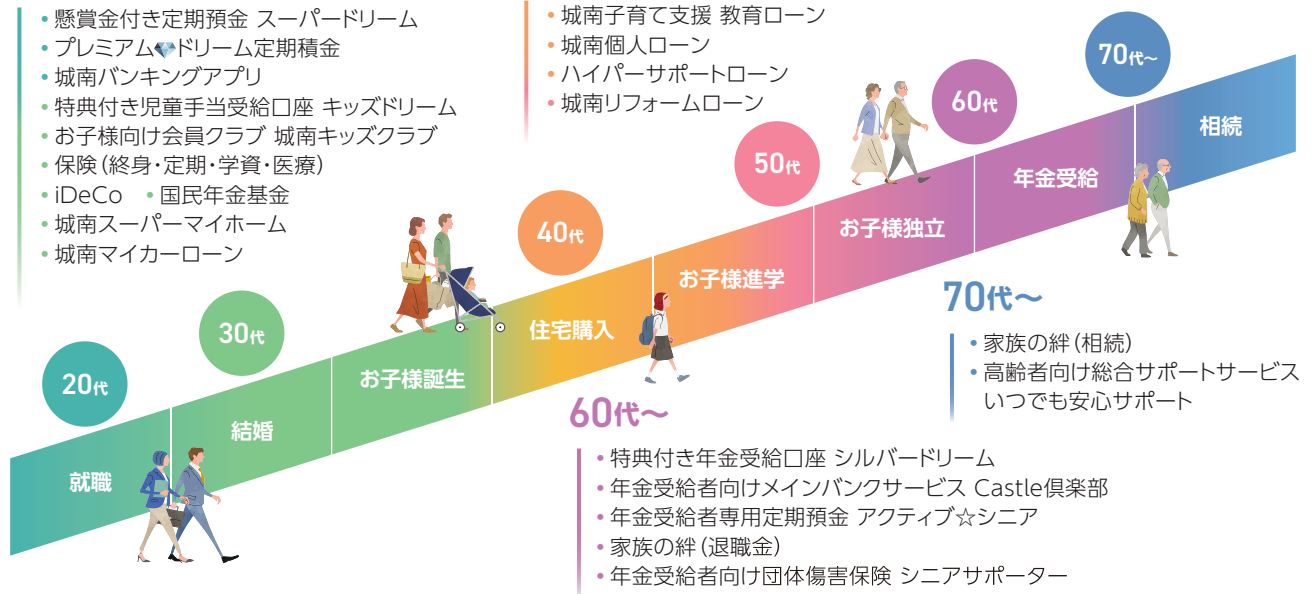
お客様のライフイベントや人生設計に合わせてさまざまな商品・サービスを提供します

20代・30代～

- ・懸賞金付き定期預金 スーパードリーム
- ・プレミアム◆ドリーム定期積金
- ・城南バンキングアプリ
- ・特典付き児童手当受給口座 キッズドリーム
- ・お子様向け会員クラブ 城南キッズクラブ
- ・保険（終身・定期・学資・医療）
- ・iDeCo ・国民年金基金
- ・城南スーパーマイホーム
- ・城南マイカーローン

40代・50代～

- ・城南子育て支援 教育ローン
- ・城南個人ローン
- ・ハイパーサポートローン
- ・城南リフォームローン



70代～

- ・家族の絆（相続）
- ・高齢者向け総合サポートサービス
いつでも安心サポート

60代～

- ・特典付き年金受給口座 シルバードリーム
- ・年金受給者向けメインバンクサービス Castle倶楽部
- ・年金受給者専用定期預金 アクティブ☆シニア
- ・家族の絆（退職金）
- ・年金受給者向け団体傷害保険 シニアサポーター

懸賞金付き定期預金 スーパードリーム

懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」

10万円を1口として1本の抽選権を付けた、個人のお客様を対象とした1年ものの定期預金です。抽選で1等賞10万円をはじめとした、さまざまな懸賞金（品）が当たります。

1994年の取扱開始から長年にわたり地域の皆様からご好評いただいています。

特典付き児童手当受給口座

キッズドリーム

特典付き児童手当受給口座「キッズドリーム」

児童手当の受給口座を当金庫にご指定いただいた方を対象としたサービスです。

一定の条件を満たされた方に1万円相当の「特典サービス」をプレゼントいたします。

また、1年以上継続して児童手当を受給していただいている方を抽選で各種イベント等へご招待するサービスもご用意しています。

プレミアム◆ドリーム 定期積金

「プレミアム◆ドリーム定期積金」

定期積金の満期日以後に、懸賞金付き定期預金「スーパードリーム」に預け替えていただくことで、定期積金の預入期間に応じて、初回預入期間に限りスーパードリームに最大0.5%の優遇金利を上乗せします。

「プレミアム◆ドリーム定期積金」の預入期間は、1年、2年、3年、4年、5年からお選びいただけます。

城南キッズクラブ

お子様向け会員クラブ「城南キッズクラブ」

各種イベントや誕生日プレゼント等を通じてお子様に楽しい思い出や喜びを提供する、お子様向け会員クラブです。

これまでに、ご家族でお楽しみいただける「京急ミュージアム」への特別招待や「いちご狩り」等のイベントを開催しています。

シニア世代のお悩みに寄り添う

特典付き年金受給口座 シルバードリーム

特典付き年金受給口座「シルバードリーム」

公的年金の受給口座を当金庫にご指定いただき、一定の条件を満たされた方に、1万円相当の「特典サービス」をプレゼントいたします。

すでにご指定いただいているお客様には、毎年のお誕生日プレゼントのほか、ご希望の方を抽選で観劇等にペアでご招待するサービスもございます。

年金受給者向けメインバンクサービス

Castle倶楽部

年金受給者向けメインバンクサービス「Castle倶楽部」

当金庫で公的年金を受給いただき、メインバンクとしてご利用いただく方を対象とした定期預金です。

特定のお取引をいただくことで、1項目ご利用につき優遇金利として城南スーパー定期1年もの店頭表示金利に0.1%を上乗せいたします。なお、優遇金利の上乗せは公金受取口座をご指定の方は最大0.3%、ご指定が無い方は最大0.2%となります。

年金受給者専用定期預金 アクティブ★シニア

年金受給者専用定期預金「アクティブ★シニア」

当金庫で新たに公的年金を受給いただくお客様を対象に、初回預入期間に限り特別な金利を適用する定期預金です。

特別金利でシニアのお客様のアクティブな暮らしをサポートいたします。

特別金利定期預金

家族の絆

特別金利定期預金「家族の絆」

相続によりご家族から引き継がれた大切な資産およびご自身が取得された退職金を特別な金利でお預かりする定期預金です。

相続で引き継がれた資産は相続手続き完了後1年以内、退職金については受取後3年以内の方が対象となります。

高齢者向け総合サポートサービスのご紹介

ご高齢やご病気等の理由で店頭に来店できない場合等でも、お客様に安心してお取引いただけるよう、9のラインナップからご希望のサービスをお選びいただける高齢者向け総合サポートサービス「いつでも安心サポート」を取扱っています。

また、2021年からは、預金をされているご本人が認知症になってしまい、認知・判断能力を喪失されてしまった場合でも、ご本人に代わってあらかじめお届けいただいた代理人の方がお手続きすることを可能にする「将来のための代理人サービス」の取扱いを開始し、大変ご好評いただいています。

「いつでも安心サポート」メニュー

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ①代理人サービス | ⑤「任意後見制度」紹介サービス |
| ②家族信託預金・融資 | ⑥後見制度支援預金 |
| ③「公正証書遺言作成お手伝い」紹介サービス | ⑦リバースモーゲージサービス |
| ④「遺言執行」紹介サービス | ⑧「有料老人ホーム」紹介サービス |
| | ⑨いつでも安心口座 |

③については一般社団法人しんきん安心サポート、④・⑤については一般社団法人しんきん成年後見サポートがそれぞれ対応いたします。

一般社団法人しんきん安心サポート…公正証書遺言の作成のサポート等を行う信用金庫のOB・OGで構成された法人です。
一般社団法人しんきん成年後見サポート…品川区内に営業店を持つ5つの信用金庫(さわやか信用金庫、芝信用金庫、湘南信用金庫、目黒信用金庫、城南信用金庫)が、品川区社会福祉協議会等の関連団体、有識者の協力を得て2015年1月に設立した我が国初の金融機関による成年後見事業の法人です。

※商品詳細につきましては、各営業店店舗にお問い合わせください。

高齢者向け 総合サポートサービス いつでも安心 サポート



城南の住宅ローン

城南スーパーマイホーム

城南スーパーマイホーム

住宅の新築、購入、増改築資金等、お客様のニーズや資金計画にお応えできる、定期預金金利に連動した当金庫独自の住宅ローンです。

他金融機関からの借り換えにもご利用いただけます。

消費者ローン

消費者ローン

お客様のライフイベントに合わせたオーダーメイドのご融資として、「教育ローン」、「マイカーローン」、「無担保住宅ローン」、「ハイパーサポートローン」等を取扱っています。

他金融機関からの借り換えにもご利用いただけます。

国民年金基金

国民年金基金

主に個人事業主のお客様向けに、老後資金の不足分に備えることができる「国民年金基金」を取扱っています。

掛金全額を社会保険料控除として課税所得額から控除できるため、税制上のメリットを享受しながら、老後生活の土台をしっかりと築くことができます。

保険商品の取扱い

保険商品の取扱い

相続対策や病気等への備え、老後の生活費の準備等、お客様のさまざまなニーズにお応えするため、保険商品の窓口販売を行っています。

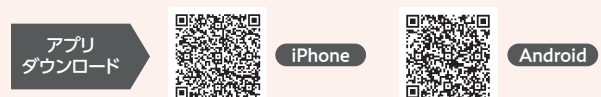
2024年4月からは、年金受給者向け団体傷害保険「シニアサポーター」を取扱っています。

個人向け「城南バンキングアプリ」



※画面はイメージです

スマートフォンで口座開設や取引状況の確認が簡単にできる個人向け「城南バンキングアプリ」を取扱っています。



<特長>

- ・預金の取引状況がリアルタイムで確認できます。
- ・最短で翌営業日に口座開設が可能です。
- ・スマートフォンに登録されている生体認証機能を使用することで、より簡単に、より安全にログインして利用することが可能です。
- ・当金庫のイメージキャラクターであるシナモロールが、アプリ通帳のデザインをはじめ、さまざまなシーンで登場します。
- ・インターネットバンキングに接続して、定期預金の預入・解約や振込が可能です。
- ・そのほか、季節限定のデザインや壁紙のプレゼント、アプリ利用者様限定のお得なクーポンもございますので、ご利用いただきながらぜひお楽しみください。
- ・今後、アプリからの定期預金、定期積金の預入やお客情報(住所、電話番号等)の変更ほか、随時機能追加をすることで個人のお客様の利便性を高めていきます。

- このほかにも、さまざまな商品・サービスをご用意しています。
- 必要書類や諸条件等につきましては、各営業店舗にお問い合わせください。
- 本誌に掲載している商品内容、パンフレット、チラシ等は原則2026年4月1日現在のものです。
- ローンのお申込みに際しては、当金庫所定の審査をさせていただきます。結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 保険商品は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。

営業店舗の新築・建替え



地域ニーズに応じた店舗の活用を進めており、今後もお客様の利便性向上、地域社会と環境にやさしい店舗づくりを通じて持続可能な未来の実現に貢献してまいります。

新横浜支店



2026年2月、新横浜支店が新店舗での営業を開始しました。
新横浜支店は、環境に配慮した高性能な建物として「ZEB Ready」認証を取得しています。



今後の計画

三宿支店：2025年5月着工



碑衾支店：2026年3月着工



※建設中の店舗につきましては、仮店舗等にてご不便をおかけする場面もございますが、何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

RE100に加盟

当金庫は2018年に、国内の金融機関で初めて、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーから調達することをめざす国際的なイニシアチブである「RE100」に加盟しました。



事業者の皆様への本業支援



城南なんでも相談プラザ

城南なんでも相談プラザでは、売上拡大や販路開拓、創業・起業、技術開発、事業承継・M&A、税務・法律など、お客様のさまざまなご相談にワンストップでお応えするほか、中小企業診断士をはじめとした専門家との連携に加え、提携業者のご紹介などを通じて、お客様の課題解決をサポートしています。

また、製造業の技術や生産管理に精通した「ものづくりコンシェルジュ」が、地域の中小企業を訪問し、専門的な視点から課題解決を支援しています。ご相談内容に応じて、ご自宅や事務所への訪問相談にも対応しています。詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。

■城南なんでも相談プラザ相談受付件数(2025年度)

相談件数	3,221件	提携業者紹介件数	2,264件
------	--------	----------	--------



創業支援

「J-Create+」「創業支援スクール」による創業支援

「未来を創造するビジネスを、社会にもっと+（プラス）する」をコンセプトに、創業支援施設「J-Create+（ジェイクリエイトプラス）」を連沼支店内に設置しています。専属のインキュベーションマネージャーと「城南なんでも相談プラザ」の専門家が連携し、創業に関するさまざまな課題解決を支援しています。

また、創業を検討されている方や創業間もない方を対象に、「創業支援スクール」を開催し、事業計画やマーケティングなど、創業に必要な知識の習得をサポートしています。



Small Biz コネクト

「Small Biz（スモールビズ）コネクト」は、創業間もない企業が自社のサービスや製品を発信するプレゼンテーションイベントです。



当金庫のお客様をはじめ、大手企業、信用金庫、行政関係者などとの新たなつながりを創出し、企業の成長を支援しています。

■ 2025年度に開催した面談実績

開催日	テーマ	登壇企業数
2025年7月16日	製造業の課題を解決	6社
9月10日	建設業の課題を解決	6社
11月26日	AIの活用で課題を解決	6社
11月27日	人手不足を解決	6社
2026年3月12日	女性起業家による企業価値向上	6社

ビジネス支援事業の後援

ビジネスコンテスト等において「城南信用金庫賞」を設ける等、地元の中小企業の皆様の活動を積極的に支援しています。



名称	かわさき起業家オーディション
	ビジネス創造コンテスト2025
	第15回ウーマンズビジネスグランプリ2026 in 品川
	第16回地域再生大賞
	第16回日本でいちばん大切にしたい会社大賞
	NIKKEI THE PITCH GROWTH

成長支援

城南ものづくりコンソーシアムサービス

「城南ものづくりコンソーシアムサービス」は、ものづくり企業のお客様の新規受注をご支援するサービスです。

本サービスは、参加企業の技術や設備、得意分野等をデータベースとして取りまとめておき、このデータベースから大手・中堅企業にPRすることで発注案件を誘引し、参加企業の皆様との商談をコーディネートします。

また、「ものづくりコンシェルジュ」が、ものづくり企業からの技術的な相談を承っており、これらの経験を通じて培ったノウハウを活用して取組むサービスです。



登録企業数	157企業
-------	-------

建設案件紹介サービス ツナガル

「建設案件紹介サービス『ツナガル』」は、建設関連企業のお客様の販路拡大をご支援するサービスです。

当金庫とお取引のある建設関連企業のお客様は、本サービスを利用することで、大手の建設関連企業からの具体的な案件の引き合いが期待され、当金庫が独自に連携している大手の建設関連企業と、建設案件で「ツナガル」ことができます。



登録企業数	155企業
-------	-------

商談会等を開催

「よい仕事おこしプラザ」を拠点に、全国の事業者同士をつなぐさまざまな取り組みを行っています。販路拡大をご支援する「商談会」をはじめ、事業者同士のつながりを広げる「交流会」、経営課題の解決をサポートする「相談会」などを開催し、お客様のビジネスを支援しています。



■ 2025年度に開催した事業者向け商談会・相談会等実績

開催日	商談会等	参加企業数	商談・相談等件数
2025年5月20日	第2回ブラッシュアップセミナー・相談会	21	30
7月 2日	大田区「ふるさと納税返礼品・登録相談会」	12	12
7月 4日	建設関連企業との商談会 (パーク24(株)・大和ハウス工業(株)・旭化成ホームズ(株))	17	29
7月17日	新現役交流会 (共催: 経済産業省関東経済産業局)	13	55
10月10日	三金庫合同 同業種交流会 (共催: 足立成和信用金庫・西武信用金庫)	50	151
10月23日	建設関連企業との商談会 (サンヨーホームズ(株)・新菱冷熱工業(株)・(株)フィル・コンストラクション)	19	27
2026年2月10日	Miralssue カンファレンス 未来塾生・卒業生限定の相談会&交流会	20	56
2月12日	第5回町田市「ふるさと納税返礼品・登録相談会」	7	7

■ 2025年度に開催した事業者向け催事・販売支援実績

開催日	販売会等	参加企業数
2025年7月20日～21日	小田急沿線“銘品発掘”フェア (本厚木)	7
8月 4日～ 5日	小田急沿線“銘品発掘”フェア (新百合ヶ丘)	11
9月19日～21日	地元応援!! 五反田TOC“徳の市”マルシェ	8
2026年3月27日～29日	第2回地元応援!! 五反田TOC“徳の市”マルシェ	10

「新現役交流会」を開催

「新現役交流会」では、技術課題や経営改善、販路拡大などの課題を抱える中小企業と、豊富な知識や経験を持つ企業OB人材(新現役)とのマッチングを行っています。



■ 2025年度に開催した面談実績

開催日	参加企業数	面談件数
2025年7月17日	13企業	55件

「同業種交流会」を開催

同業種のお客様同士のネットワークづくりをご支援する「同業種交流会」を開催しています。業界内での情報交換や新たなつながりづくりを通じて、お客様のビジネスのさらなる発展を支援しています。



開催実績

- ・「プラスチック・樹脂加工」関連企業を対象とした三金庫合同交流会を開催
- ・足立成和信用金庫・西武信用金庫と連携して実施

「城南友の会」を運営

各営業店では、お客様同士の交流や親睦を深めていただくため、「お客様の会」を設立しています。本部には各会を取りまとめる「城南友の会」運営事務局を設置し、講演会や交流イベントなどを開催しています。

開催実績 2026年4月20日 第13回「城南友の会総会」



海外事業展開を支援

城南信用金庫では、「海外事業支援室」を設置し、お客様の海外事業展開を支援しています。JETROなどの政府機関や専門家と連携し、海外進出や販路開拓、外国人材の活用など、さまざまなご相談に対応しています。

また、日本の親会社から海外子会社への融資に対応した「親子ローン」や、オンラインで送金手続きが行える「城南外為Webサービス」など、海外ビジネスを支える金融サービスも提供しています。

■海外事業支援室相談受付件数(2025年度)

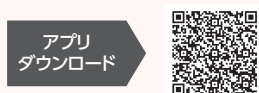
相談件数	17件	提携業者紹介件数	12件
------	-----	----------	-----



事業者向け「城南バンキングアプリBiz」



※画面はイメージです



アプリ
ダウンロード

iPhone



Android

事業を営んでいる方がスマートフォンで簡単に普通預金・当座預金・定期預金等の取引状況の確認や口座開設の申込みができる「城南バンキングアプリBiz」を取扱っています。

<特長>

- ・アプリを使用すれば、外出先で入出金の確認が可能です。
- ・代表者が許可をした利用者を最大5名まで登録することができます。(経理担当者を利用者として登録することができますので、アプリを活用することで、より効率的に日々の収支管理が可能となります。)
- ・スマートフォンに登録されている生体認証機能を使用することで、より簡単に、より安全にログインして利用することが可能です。
- ・取引のない方でも、アプリから普通預金口座開設の申込予約が可能です。
- ・お問い合わせはチャットボットで365日受付していますので、気軽にお問い合わせください。
- ・今後、事業を営む方向けのサービス拡充を検討していきます。

事業承継支援

事業承継を支援

城南信用金庫では、「事業承継支援部」を中心に、事業承継に関するさまざまな課題解決を支援しています。

後継者育成や第三者承継、M&Aなど、お客様の状況に応じたサポートを行い、大切な技術やノウハウを次世代へ承継するお手伝いをしています。

未来塾を開催

若手経営者や後継経営者の方々を対象に、「城南信用金庫“未来塾”」を毎年開催しています。

経営コンサルタントによる講義や参加者同士の交流を通じて、企業のさらなる成長と発展を支援しています。



■事業承継支援部相談受付件数(2025年度)

相談件数	331件
------	------

よい仕事おこし ネットワークの取組み



全国の信用金庫とそのお取引先企業、自治体、教育機関、マスコミ等が参加し、知恵を出し合いながら各種の連携した活動を行う「よい仕事おこしネットワーク」の取組みを推進しています。

“よい仕事おこし”フェア

「よい仕事おこし」フェアは、全国の信用金庫のお取引先企業等が一堂に会するビジネスマッチングイベントです。

販路拡大や地域連携、新たなビジネス機会の創出を目的に開催しており、多くの事業者・自治体・教育機関などが参加しています。

また、「よい仕事おこしネットワーク」と連携し、地域活性化や人材不足など、地域や事業者が抱えるさまざまな課題解決にも取り組んでいます。



■ 第13回「よい仕事おこし」フェア実績

開催日	2025年11月26日・27日
フェア来場者数	24,280人
出展事業者数	505事業者
出展ブース数	478ブース
商談件数	4,193件

2026 “よい仕事おこし”フェア 入場無料

日本全国47都道府県の企業が集結し、信用金庫のネットワークが繋がることで、地域経済の活性化に向け新たな発見、価値創出が生まれています。当フェアの開催を通じて私たちが大切なお客様同士の懸け橋となり地域の「よい仕事おこし」を全力で応援いたします。

日時・場所 2日間開催

12/8 (火)・9 (水)
10:00~17:00 10:00~16:00
東京ビッグサイト南3・4ホール

お問い合わせ先

「よい仕事おこし」フェア 実行委員会 事務局
TEL.03-3493-8130 (受付時間：平日9:00~17:00)
E-mail.yoishigoto-fair@jsbank.co.jp



よい仕事おこしネットワークサイト

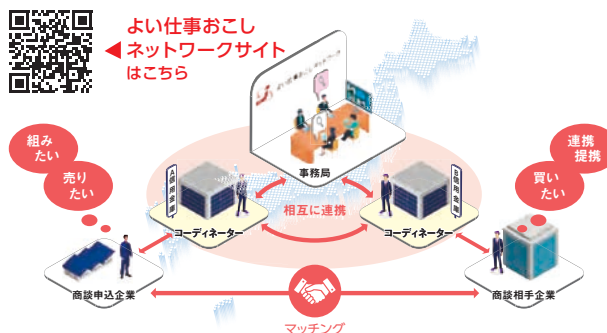
「よい仕事おこしネットワークサイト」は、全国の信用金庫のお取引先事業者が利用できる、広域ビジネスマッチングのためのオンラインプラットフォームです。

よい仕事おこしネットワークに加盟する全国212信用金庫には専属のコーディネーターが配置されており、参加事業者のニーズに応じた案件提案を行うことで、スムーズかつ精度の高いマッチングを実現しています。

現在、14,000を超える事業者が参加しており、「売りたい」「買いたい」「技術を探している」「課題を解決したい」といったさまざまなニーズに対して、地域を越えた情報交換やマッチングが日々行われています。

(2026年3月末現在)

参加企業数	14,556企業
登録案件数	3,672件



やりがいを持ち、 安心して働ける職場づくり

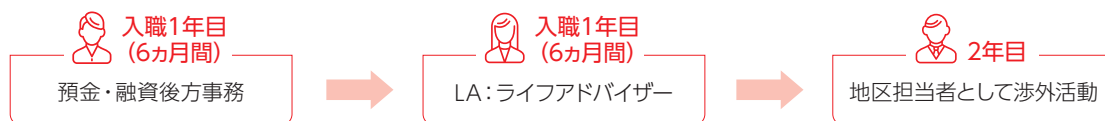


当金庫では、性別や年齢等に関係なく、全ての職員がお客様との接点を持ち、「Face to Face」の活動で地域社会の発展に貢献する「全員営業体制」の実現を目指した人財育成、働き方改革に取り組んでいます。

城南信用金庫のキャリアパス

職員のスキルアップや効果的な研修の実施、人員配置、ジョブローテーションを実践する人財育成プログラム「城南信用金庫キャリアパス」を整備しています。キャリアパスに

おいては、「全員営業体制」の実現を目指し、入職以降段階を踏んで必要なスキルが身につく人事配置を行っています。



主な資格取得状況・外部機関出向実績

入職から10年目程度までを“キャリア形成期”として捉え、信用金庫の日常業務遂行に必要な知識を身につけるための「全信協基礎・上級実務試験」や、お客様の状況に応じたライフプランの立案・相談に必要な技能を身につけるための「ファイナンシャル・プランニング技能検定 (FP技能検

定) 3級・2級」を5年目までの奨励資格とし、さらに宅地建物取引士や中小企業診断士をはじめとする専門資格の取得を奨励しています。また、人財の多様性を確保し、より柔軟な業務運営を行うことを目的として、概ね6ヵ月から2年を目安に、職員を外部機関へ出向派遣しています。

主な資格取得・試験合格状況 基準日 (2026年3月末現在、延べ人数)

	人数		人数
1級 FP技能検定	38名	行政書士	11名
2級 FP技能検定	774名	社会保険労務士	7名
宅地建物取引士	209名	基本情報技術者	6名
ITパスポート	95名	司法書士	1名
中小企業診断士	31名	税理士	1名

主な外部機関出向実績 基準日 (2025年度実績)

	人数	期間
復興庁	1名	9ヵ月
大田区産業振興協会	1名	1年
関東経済産業局	1名	2年
全国信用金庫協会	1名	2年
蒲田法人会	1名	1年

城南信用金庫アルムナイ・ネットワーク

当金庫では、さまざまな事情で当金庫を退職された元職員の方が、新たに得た経験・知識・スキル等を活かし、再び当金庫で働くことを歓迎しています。

2025年5月から「城南信用金庫アルムナイ・ネットワーク」を構築し、アルムナイ同士、または職員との交流・つながりを促進する活動に取り組んでいます。

登録はこちら



公式アプリ
で登録



Webで
登録

数字で見る城南信用金庫



DX・BPRの推進



しんきん共同システムへの移行

2026年1月、当金庫は、単独自営システムから、一般社団法人しんきん共同センター*が提供する「共同利用型勘定系システム」および「共同利用型の営業店システム」に移行しました。

主な目的

- ① 勘定系システムの将来にわたる**安定稼働の確保**
- ② 勘定系システムの**業務継続態勢の維持・強化**
- ③ 勘定系システムの共通化、共同化による法制度対応等に係る**システムコストの削減**
- ④ 勘定系システムの共通化、共同化により生じた**人的資源の「戦略的分野」への配置**
- ⑤ 営業店システムの導入により生じた**「人と時間」の「お客様と接する時間」へのシフト**

*一般社団法人しんきん共同センター…全国にある230を超える信用金庫の勘定系システムである「しんきん共同システム」を運営しています。

生成AIの活用

当金庫では、金庫の業務効率化および役職員一人ひとりの生産性向上を図り、そこで捻出した時間をお客様と接する時間にシフトしていくため、株式会社neoAIが提供する「neoAIChat」を導入し、生成AIを金庫業務で活用しています。

2025年9月、京都中央信用金庫、株式会社neoAIとともに、信用金庫同士によるナレッジ共有や人材育成等を目的に「信用金庫生成AI共同研究会『“GEN(ジェン)×しんきんラボ” supported by neoAI』」を発足しました。



データ利活用の取組み



データ分析ソフトウェアKI(株式会社キーエンス)

当金庫では、信用金庫の生命線である「Face to Face」を大切にし、お会いするお客様に最適なサービスのご提案ができるよう、データ分析に取り組んでいます。

これにより渉外担当者の「経験と勘」とデータ分析の相乗効果で、お客様に寄り添うことができる効果的な渉外活動を目指しています。

BPR・情報共有ツールとして「グループウェア」を活用



出展元:POWER EGG3.0(ディサークル株式会社提供) <https://poweregg.d-circle.com/>

当金庫では、これまでの既成概念を払拭し、抜本的な業務改革を行うことで、役職員一人ひとりの生産性向上を図ることを目的に「グループウェア」を活用しています。

また、「グループウェア」を活用することで、役職員間の情報やナレッジの共有化、金庫内のコミュニケーションの円滑化にもつながっています。

「DX認定事業者」の認定を取得

当金庫は2022年6月に経済産業省が定めるDX認定制度において、「DX認定事業者」として認定されました。

更新:2024年6月/2026年6月



リスク管理態勢・コーポレートガバナンス態勢

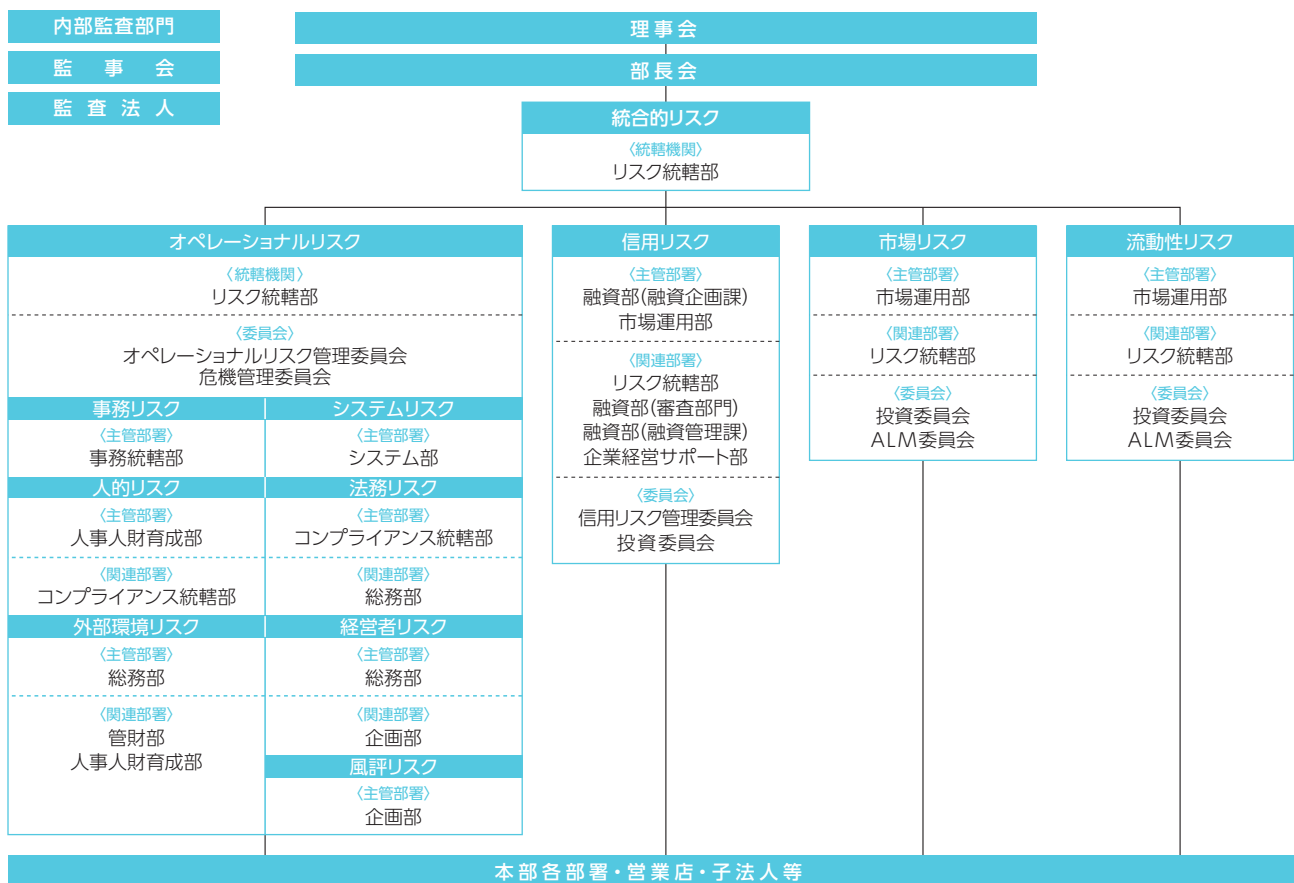


経営管理全般にわたる統合的リスク管理を強化、徹底しています

統合的リスク管理とは、金融機関の直面するリスクに関して、自己資本比率の算定に含まれないリスク(与信集中リスク、銀行勘定の金利リスク等)も含めて、それぞれのリスク・カテゴリー毎(オペレーショナルリスク、信用リスク、市場リスク等)に評価したリスクを総体的に捉え、金融機関の経営体力(自己資本)と比較・対照することによって、自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

当金庫では、管理すべきリスクを「オペレーショナルリスク」「信用リスク」「市場リスク」「流動性リスク」に分類し、理事会を最終責任機関とし、部長会、統轄機関、管理主管部署及び運営する委員会に対応する態勢を整え、適切なリスクのコントロール及び削減に努めています。

統合的リスク管理態勢



当金庫の役員

理事長	林 稔	副理事長	斉藤 任弘	副理事長	長谷部 義和	常務理事	西山 直宏	常務理事	長野 賢史
常務理事	鎌田 修	常勤理事	浅沼 和夫	常勤理事	卯月 雄一郎	常勤理事	中野 拓朗	常勤理事	三友 聡一郎
常勤理事	渡辺 哲也	常勤理事	松井 慶彦	非常勤理事	亀井 真紀	常勤監事	坂本 豊	常勤監事	上原 秀生
非常勤監事(員外)	赤川 公男	非常勤監事(員外)	渡部 以光						

コーポレートガバナンス（企業統治）を重視した経営に取り組んでいます

コーポレートガバナンスとは、企業の違法行為を監視したり、少数に権限が集中する弊害をなくすことにより、企業を健全に運営すること、またはその仕組みのことですが、当金庫では、「理念・ビジョンを持つ」「ルールを明確にする」「制度を確立する」という3点を重視しています。

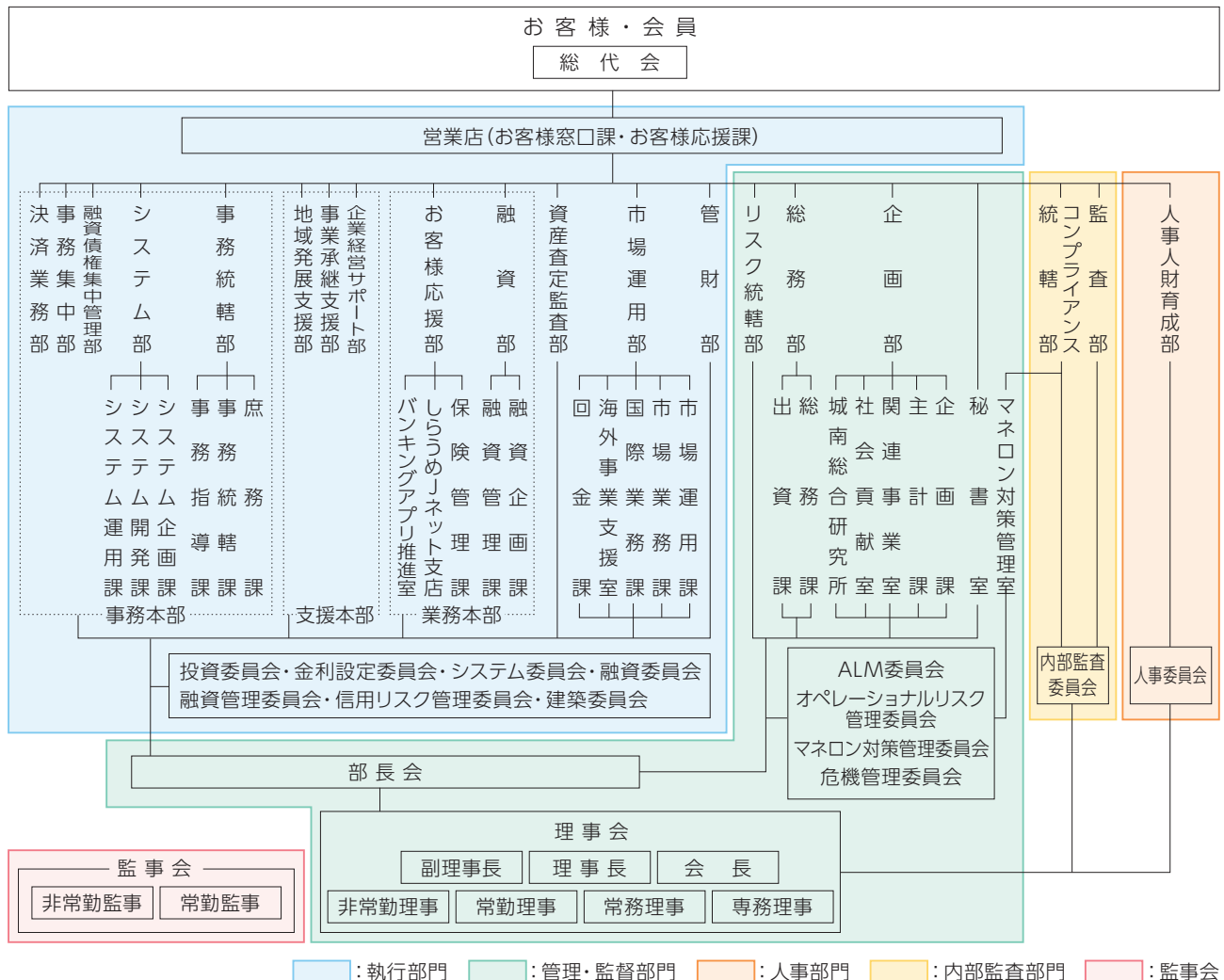
「理念・ビジョンを持つ」という点では、「中小企業の健全な育成発展」「豊かな国民生活の実現」「地域社会繁栄への奉仕」という3つのビジョンを掲げ、その実現に金庫一丸となって取り組んでいます。

次に、「ルールを明確にする」という点では、「理事の定年および任期を明確化する」「役員職員の3親等以内の親族の入庫を禁止する」「中元・歳暮等であっても上司が部下から物品、商品券等を受け取ることを禁止する」等のルールを定め、厳格な運用に努めています。

最後に、「制度を確立する」という点では、本部組織を、業務に携わる「執行部門」、理事会を中心とした「管理・監督部門」「人事部門」「内部監査部門」「監事会」の5つに分けて、各部門が相互牽制を図っています。また、組織図においては、お客様を最上位とし、「お客様本位」の考え方を確実に実践する制度、体制を確立しています。さらに、金庫のすべての業務における内部管理態勢の適切性等を検証、評価する「内部監査委員会」を設置し、委員には1名以上の職員外理事をおくとともに、理事会の議長を理事長、副理事長を除く、理事会が選任した理事が務める等、金庫の「健全経営」「堅実経営」に努めています。

注) 職員外理事とは、以下の要件を満たす者とする。
 就任前5年間、金庫の理事（職員外理事を除く）、職員等および金庫の子会社の取締役、会計参与、執行役または使用人（以下「金庫の職員等」という）ではなかった者であること。
 ただし、理事候補となることを前提に、理事就任前の短期間（1年未満を目安とする）、金庫の職員等であった者は除く。常勤・非常勤の別は問わない。

組織図



城南信用金庫の社会貢献活動



青少年の健全な育成



「しんきんCUP世田谷区小学生将棋大会」を開催



こども金融教室を開催



学童野球大会「城南CUP」「城南ガールズCUP」を開催



地域の安心・安全を守る活動



防犯キャンペーンに参加



防災イベントに参加

交通安全運動に参加



特殊詐欺の未然防止



被災地支援



「もったいない市場」に参加 (品川支店)

「天祖神社秋季例大祭」に参加 (経堂支店)



地域のイベント



「羽田神社例大祭」に参加 (羽田支店)

「2026大岡山さくらまつり」に参加 (大岡山支店)



「天王町町内会盆踊り大会」に参加 (天王町支店)



「モトスミハロウィン2025」に参加 (元住吉支店)

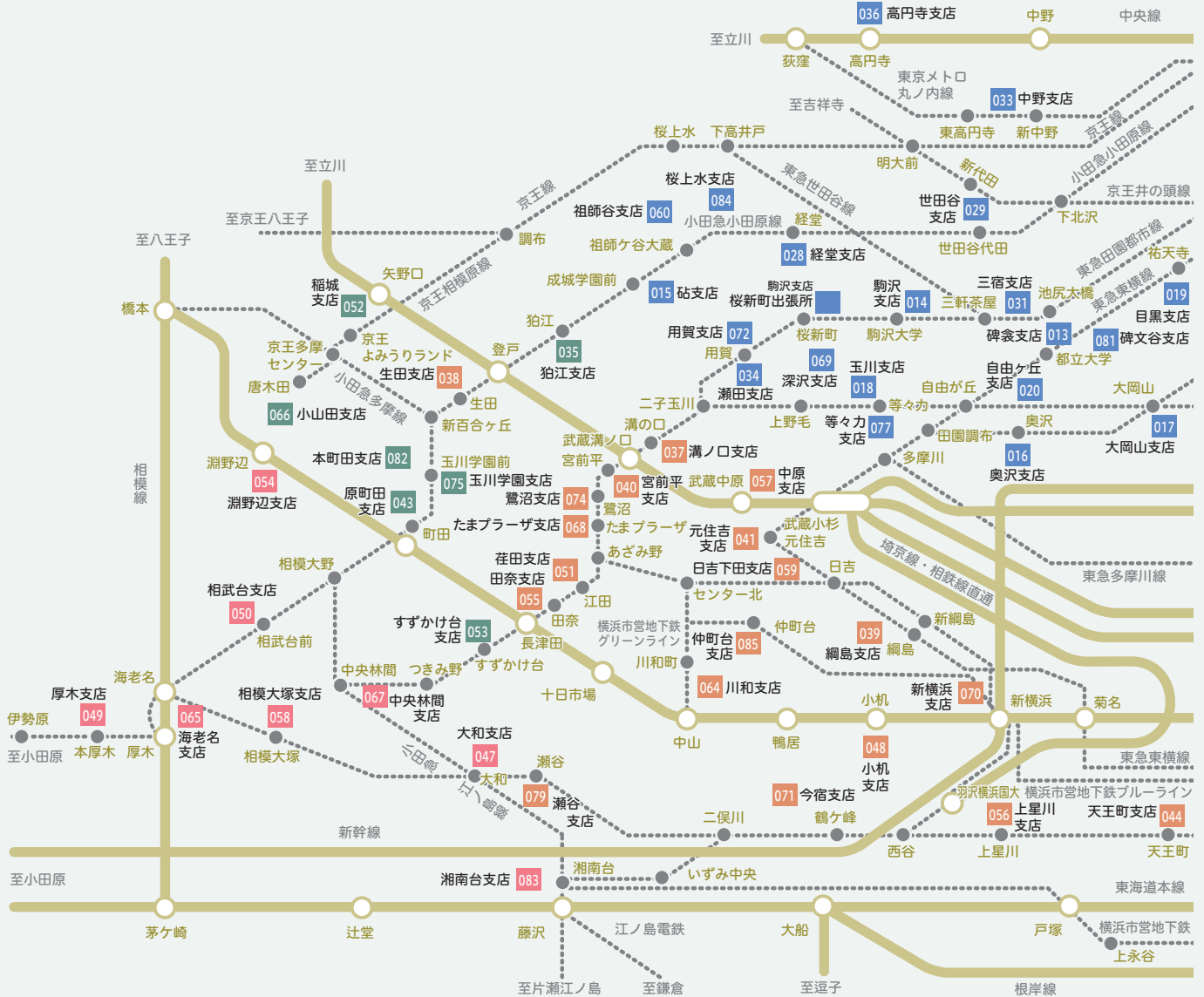
「おもちつきだよ全員集合!」に参加 (雪ヶ谷支店)



「自由が丘盆踊り大会」に参加 (自由ヶ丘支店)

店舗のご紹介

城南信用金庫



東京都

品川区 7 店舗

001 営業部本店	〒141-8710 品川区西五反田7-2-3	03(3493)8111
002 品川	〒140-0004 品川区南品川1-4-25	03(3471)3171
003 大井	〒140-0014 品川区大井1-6-10	03(3774)1051
012 荏原	〒142-0054 品川区西中延1-4-16	03(3786)1131
062 大崎	〒141-0032 品川区大崎2-6-11	03(3491)8771
073 西大井	〒140-0015 品川区西大井1-3-3-101	03(3773)8511
076 立会川	〒140-0013 品川区南大井4-6-1	03(3298)3341

大田区 15 店舗

004 大森	〒143-0014 大田区大森中1-7-1	03(3762)3511
005 新井	〒143-0016 大田区大森北1-26-3	03(3763)2311
006 馬込	〒143-0025 大田区南馬込5-2-9	03(3771)0101
007 池上	〒146-0082 大田区池上6-4-1	03(3751)5121
008 蒲田	〒144-0052 大田区蒲田5-26-13	03(3733)8181
009 六郷	〒144-0046 大田区東六郷3-2-10	03(3738)5121
010 矢口	〒146-0093 大田区矢口1-8-8	03(3750)4161
011 羽田	〒144-0047 大田区萩中3-8-5	03(3741)7791
017 大岡山	〒145-0062 大田区北千束3-31-7	03(3727)3135
024 雪ヶ谷	〒145-0067 大田区雪谷大塚町7-9	03(3720)4131

032 蓮沼	〒144-0051 大田区西蒲田6-32-11	03(3732)3211
蓮沼支店	〒144-0051 大田区西蒲田1-22-13	03(3755)0131
061 蒲田本町	〒144-0053 大田区蒲田本町2-19-1	03(3736)1571
078 大田文化の森	〒143-0024 大田区中央2-12-3	03(3777)4911
080 久が原	〒146-0085 大田区久が原3-35-1	03(5700)2531

目黒区 4 店舗

013 碑倉	〒152-0031 目黒区中根1-1-14	03(3717)1131
(仮店舗)	〒152-0035 目黒区自由が丘1-13-16 城南信用金庫 自由ヶ丘支店2階	
019 目黒	〒153-0052 目黒区祐天寺2-12-17	03(3712)1161
020 自由ヶ丘	〒152-0035 目黒区自由が丘1-13-16	03(3717)3161
081 碑文谷	〒152-0003 目黒区碑文谷4-24-21	03(5704)0731

世田谷区 14 店舗

014 駒沢	〒154-0011 世田谷区上馬4-10-1	03(3414)3161
駒沢支店	〒154-0012 世田谷区駒沢3-27-1-101	03(3412)8541
015 砧	〒157-0066 世田谷区成城2-26-17	03(3416)3171
016 奥沢	〒158-0083 世田谷区奥沢3-30-14	03(3720)4151
018 玉川	〒158-0082 世田谷区等々力3-8-1	03(3701)2156
028 経堂	〒156-0052 世田谷区経堂1-12-7	03(3429)0161
029 世田谷	〒155-0033 世田谷区代田5-12-5	03(3414)3126



※路線図はイメージ図ですので最寄駅については各店舗にお問い合わせください。



031	三宿	〒154-0001 世田谷区池尻3-30-8	03(3413)3211
(仮店舗：〒153-0043 目黒区東山3-8-1 東急池尻大橋ビル6階)			
034	瀬田	〒158-0095 世田谷区瀬田3-3-5	03(3700)7181
060	祖師谷	〒157-0071 世田谷区千歳台2-13-4	03(3484)8471
069	深沢	〒154-0012 世田谷区駒沢5-15-12	03(3705)5511
072	用賀	〒158-0097 世田谷区用賀3-27-4	03(3707)5611
077	等々力	〒158-0082 世田谷区等々力2-7-2	03(3702)3851
084	桜上水	〒156-0045 世田谷区桜上水2-6-4	03(5374)8821

千代田区 2店舗			
021	神田	〒101-0047 千代田区内神田3-22-7 JS神田多一ビル2階・3階	03(3252)8251
023	九段	〒101-0051 千代田区神田神保町3-1	03(3265)0631

港区 2店舗			
022	新橋	〒105-0004 港区新橋3-7-7	03(3502)8251
026	青山	〒107-0061 港区北青山2-12-14	03(3401)2131

渋谷区 1店舗			
025	渋谷	〒150-0002 渋谷区渋谷3-8-10	03(3400)6246

中央区 1店舗			
030	銀座	〒104-0061 中央区銀座1-18-8	03(3535)2411

中野区 1店舗			
033	中野	〒164-0011 中野区中央5-16-1	03(3381)7136

杉並区 1店舗			
036	高円寺	〒166-0002 杉並区高円寺北2-41-21	03(3330)3211

狛江市 1店舗			
035	狛江	〒201-0014 狛江市東和泉1-30-1	03(3489)5191

町田市 5店舗			
043	原町田	〒194-0021 町田市中町2-3-4	042(725)4511
053	すずかけ台	〒194-0002 町田市南つくし野3-7-1	042(796)4811
066	小山田	〒194-0204 町田市小山田桜台1-20	042(797)2111
075	玉川学園	〒194-0041 町田市玉川学園7-4-1	042(729)7311
082	本町田	〒194-0032 町田市本町田3251-3	042(721)9891

稲城市 1店舗			
052	稲城	〒206-0812 稲城市矢野口589	042(377)7011

神奈川県

川崎市 6店舗			
037	溝ノ口	〒213-0001 川崎市高津区溝口1-14-3	044(833)0321
038	生田	〒214-0038 川崎市多摩区生田7-6-3	044(922)0141
040	宮前平	〒216-0006 川崎市宮前区宮前平1-10-8	044(866)9121
041	元住吉	〒211-0025 川崎市中原区木月3-16-1	044(411)2141
057	中原	〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-14-8	044(711)3651
074	鷺沼	〒216-0005 川崎市宮前区土橋3-2-4	044(854)2511

横浜市 16店舗			
039	綱島	〒223-0053 横浜市港北区綱島西1-10-7	045(541)8021
044	天王町	〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町2-47-3	045(333)1561
045	鶴見	〒230-0061 横浜市鶴見区佃野町19-5	045(573)1881
046	六角橋	〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川2-7-1	045(432)5111
048	小机	〒222-0036 横浜市港北区小机町1459	045(472)8221
051	荏田	〒225-0015 横浜市青葉区荏田北3-8-1	045(911)2741
055	田奈	〒227-0064 横浜市青葉区田奈町43-7	045(983)3221
056	上星川	〒240-0042 横浜市保土ヶ谷区上星川1-4-9	045(382)0081
059	日吉下田	〒223-0064 横浜市港北区下田町4-3-12	045(561)5131
063	横浜	〒231-0033 横浜市中区長者町5-75-1	045(252)8491
064	川和	〒224-0057 横浜市都筑区川和町975-2	045(933)4641
068	たまプラザ	〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘1-10-10	045(902)6701
070	新横浜	〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-13	045(471)8081
071	今宿	〒241-0031 横浜市旭区今宿西町1953-6	045(954)3901
079	瀬谷	〒246-0031 横浜市瀬谷区瀬谷4-4-10 ライプゲート瀬谷2階	045(301)9411
085	仲台	〒224-0041 横浜市都筑区仲台1-23-23	045(941)5011

大和市 3店舗			
047	大和	〒242-0017 大和市大和東1-5-5	046(263)3361
058	相模大塚	〒242-0028 大和市桜森3-5-3	046(263)5551
067	中央林間	〒242-0007 大和市中央林間4-19-10	046(273)0781

厚木市 1店舗			
049	厚木	〒243-0018 厚木市中町2-10-8	046(224)8711

座間市 1店舗			
050	相武台	〒252-0011 座間市相武台1-34-12	046(255)1241

相模原市 1店舗			
054	淵野辺	〒252-0233 相模原市中央区鹿沼台1-13-16	042(758)3811

海老名市 1店舗			
065	海老名	〒243-0432 海老名市中央1-4-27	046(231)1411

藤沢市 1店舗			
083	湘南台	〒252-0804 藤沢市湘南台2-8-18	0466(46)0561

インターネット支店

090	しらうめJネット	〒158-0097 世田谷区用賀4-22-1 (事務センター内)	03(3493)8111
-----	----------	----------------------------------	--------------

本部関係

本	店	〒141-8710 品川区西五反田7-2-3	03(3493)8111
事務センター		〒158-0097 世田谷区用賀4-22-1	03(3700)3161
コールセンター			0120(753)012
城南なんでも相談プラザ		〒141-8710 品川区西五反田7-2-3	03(3493)8116
よい仕事おこしプラザ		〒144-0041 大田区羽田空港1-1-4	03(5579)7655
		羽田インベーションシティゾーン K3-1	

2026年3月31日 現在

 城南信用金庫

〒141-8710 東京都品川区西五反田7-2-3
TEL : 03(3493)8111(代表)

<https://www.jsbank.co.jp>

